

2025年(令和7年)3月オホーツク管内倒産集計

令和7年4月2日

株式会社 東亜リサーチ

北見市北6条西5丁目1番地

Tel (0157) 23 - 6288

Fax (0157) 24 - 1033

年初から3か月連続の発生

発生件数1件、負債総額3,618万円

■前月比	件数	1件減少(令和7年 2月	2件)
	負債総額	1億1,407万円減少(" 1億5,025万円)
<hr/>			
■前年同月比	件数	1件減少(令和6年 3月	2件)
	負債総額	1億1,852万円減少(" 1億5,470万円)

令和7年3月の発生状況

令和7年3月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は発生1件、負債総額3,618万円だった。発生企業は昭和50年創業のゴルフショップ運業者(北見市)。平成19年からはゴルフ練習場内に出店した店舗でゴルフ用品の販売を手がけていたが、大手スポーツ店との競合などから売上は低迷。每期赤字決算で推移していたことから事業継続が困難となり、3月31日付で事業を停止し事後処理を弁護士に一任して自己破産準備に入ったもの。

これで倒産発生は年初から3か月連続。重苦しい不穏な空気が続いている。

過去5年間と今年1月～3月の発生推移

過去5年間の1月～3月の発生推移は【右・表】の通りで、平均発生件数は2.8件。同負債総額は2億9,758万円となっている。

年明けから倒産発生が続く今年は過去5年間の平均額を大きく上回っており、今後の動向が懸念される状況だ。

過去5年間と今年1～3月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
2020年	4件	7億9,800万円
2021年	3件	1億6,200万円
2022年	0件	0円
2023年	3件	1億5,000万円
2024年	4件	3億7,792万円
2025年	4件	6億8,643万円

今後の見通しと問題点

国内全体ではインバウンド需要が牽引する観光産業などで活発な動きが見られる一方、エネルギー価格をはじめとする各種物価の高騰・高止まりや深刻な人手不足、人件費の上昇、借入金の返済負担増など企業活動におけるマイナス要素が多岐に及び、北海道内でも倒産件数の増加が目立ち始めている。さらに、各金融機関において金利の引き上げが着々と進むほか、4月からは物価高騰の流れがさらに加速するとみられ、事業活動への影響を懸念する声も多く聞かれている。

オホーツク管内では昨年後半の落ち着いた様相から状況が一変し、年初から3か月連続で倒産企業が発生するなど重苦しい空気が漂っている。各事業者は様々な事業展開を試みて売上の底上げや経営基盤の立て直しに奔走するものの、物価高騰や深刻な人手不足など取り巻く環境は今なお厳しく、地方の中小企業にとってはまだまだ先行き不透明感が拭えない状況にあるようだ。

